

有明海・八代海等総合調査評価委員会
海域再生対策検討作業小委員会
今後の進め方について

1 小委員会の検討内容

1.1 検討構成

小委員会における検討の構成を図 1.1に示す。

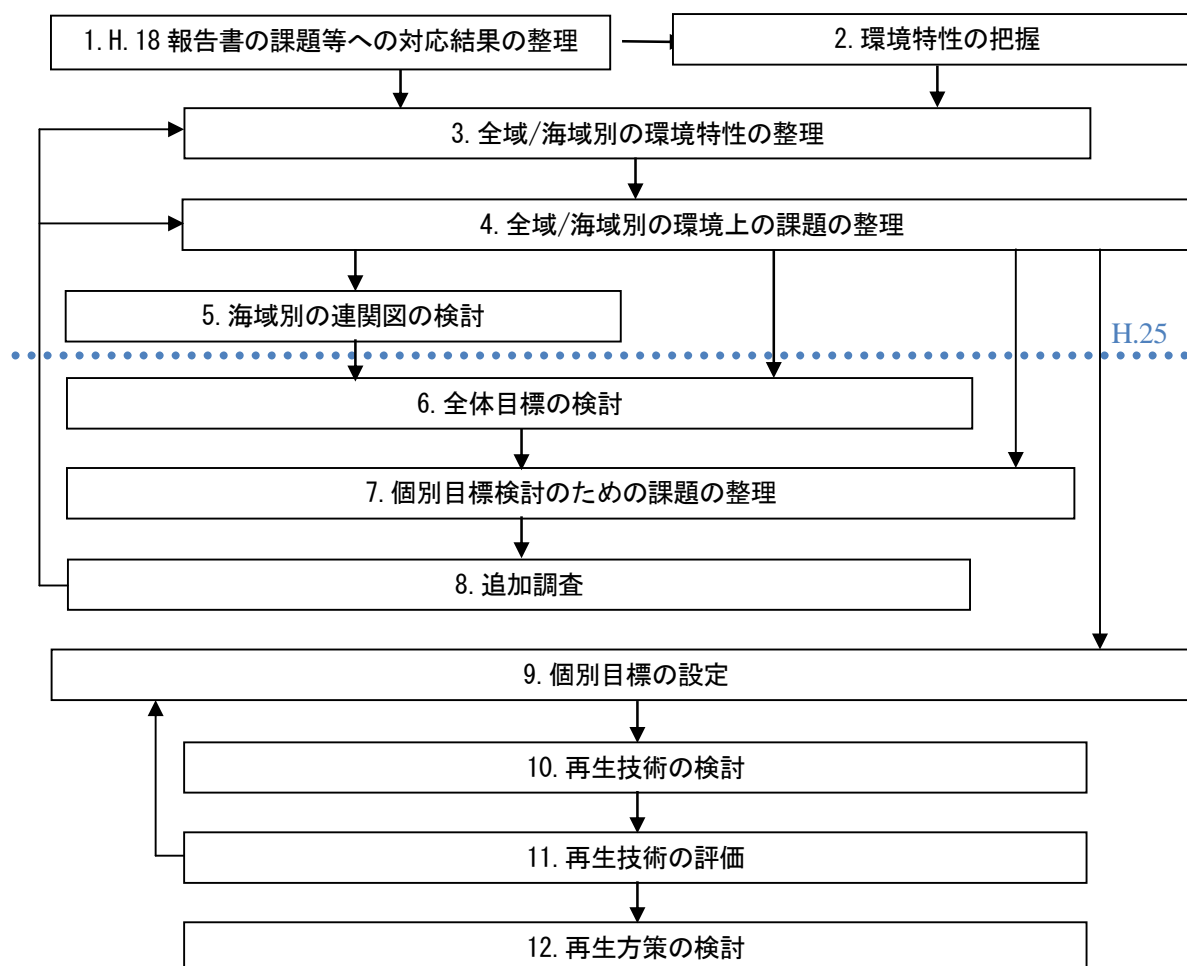


図 1.1 検討構成

1.2 検討内容

1.2.1 H.18 報告書の課題等への対応結果の整理

H.18 報告書には、再生の取り組みとして、以下の具体的な再生方策の検討が必要、と記載されている。

- ① 底質環境の改善
- ② 沿岸域の環境保全・回復
- ③ 貧酸素水塊の対策
- ④ 貝類・魚類等の資源管理及び増養殖
- ⑤ 持続的なノリ養殖のための施策の推進
- ⑥ 八代海における持続的な養殖のための施策の推進

そこで、この小委員会では上記に関する取組状況(終了した、実施中及び計画の事業を対象)を確認するために、以下の4つの観点から事業報告、研究報告及び論文等の情報を収集・整理する。情報収集は、関係省庁、関係自治体及び各委員に依頼している。

- **底層環境**：主に底質、直上水等に関する情報
- **水環境**：主に水質、淡水流入量、負荷量、流況等に関する情報
- **生態系**：主に海生生物(プランクトン・ネクトン(シロギキ・フグなど)・ベントス(タイギ・アサリなど)等)、海岸植生等に関する情報
- **その他**：有明海・八代海に関する上記以外の観点に区分される情報(ex. 気象・海底地形・水産業等)

1.2.2 環境特性の把握

有明海、八代海の環境特性を整理する。有明海、八代海は湾奥と湾口では大きく環境が異なっていることから、両海の環境特性を把握するためには海域を区分する必要がある。

整理は、過去からのデータが揃っている水質、底質及び底生生物のデータを用いてクラスター解析によって行う。海底地形・流況については海域区分する際の参考とする。また、海域区分に当たっては、現在の水面利用状況、環境上の問題が顕在化している海域についても配慮する。

1.2.3 上記対応の結果を踏まえた海域毎の環境特性の整理

上記の結果を踏まえて有明海、八代海の海域区分を行う。

1.2.4 環境上の課題の整理

上記の H.18 報告書に記載されている「今後の課題」の対応状況を踏まえて、有明海・八代海の問題点と原因・要因との関連の可能性を整理した連関図の更新を行うために、有明海・八代海の区分した海域毎に問題点及びその原因・要因を整理する。

問題点は、水面利用上の問題点以外にも環境上の問題点や全体目標達成の観点からも整理する。

問題点の原因・要因については、海域区分毎に、前回の作成方法と同様に収集した情報について、定量的か定性的か、現地調査結果、室内実験結果あるいは理論的結果なのかを判断し、原則として現地調査による定量的な結果を最優先として整理する。

1.2.5 海域別の連関図の検討

前節で整理した問題点を中心とした原因・要因との関連を連関図として整理する。

1.2.6 全体目標の検討

有明海及び八代海の環境特性を踏まえて、海域全体の望ましい環境像である全体目標を検討する。全体目標は定性的に全域の目標像を簡潔に表現するものとする。

全体目標は、生物・水産資源・水環境問題検討作業小委員会の整理結果を参考に、後述する区分された海域毎の個別目標との整合を念頭に置いて、検討を進める。

1.2.7 個別目標検討のための課題の整理

各海域における環境上の問題点の原因・要因について、環境に関する知見が得られていない、あるいは研究が行われていないため原因・要因を特定するための課題を整理する。

1.2.8 追加調査

有明海・八代海の各海域において、漁業生産の低下や環境悪化の原因・要因を特定するための課題を解決するための追加調査を計画し、実施する。追加調査計画策定については、他省庁及び関係自治体の事業・調査との連携を図る。

1.2.9 個別目標の設定

有明海・八代海の各海域において、漁業生産の低下などを踏まえた原因・要因を解決した環境像を個別目標として設定する。個別目標は全体目標と整合がとれ、かつ実行可能な対策を前提として設定する。また、個別目標達成のための順応的管理システムを構築する。

1.2.10 再生技術の検討

有明海・八代海の各海域における個別目標を達成するために必要な再生技術を検討する。

1.2.11 再生技術の評価

有明海・八代海の各海域における各再生技術の評価を行う。評価は、各海域における評価及び海域全体に対する評価を行う。評価結果によっては、個別目標を見直し、再生技術を再検討する。

1.2.12 再生方策の検討

有明海・八代海の各海域における各再生技術の実施体制(モニタリング体制、順応的管理体制等)を検討し、再生方策としてとりまとめる。

2 その他の作業

2.1 第3回海域再生対策検討作業小委員会における方針説明

第3回海域再生対策検討作業小委員会で示された第4回以降の検討方針は以下の通りである。

①有明海・八代海の海域区分別の環境特性の把握、連関図の作成

- ・ 海域区分と区分毎の環境特性の整理
- ・ 海域区分毎の問題点・その原因要因の仮説
- ・ 仮説の検証
- ・ 海域区分、環境特性の見直し
- ・ 海域区分毎の連関図作成

②生物・水産資源・水環境問題検討作業小委員会への対応

2.2 収集資料の整理について

昨年度末で環境省が収集した報告書は計 464 冊であった。現時点で 365 冊の内容を確認し、環境特性を整理するために活用可能な報告書は 107 冊であった。このデータをを取り込んで昨年度作成した環境特性一覧に追記する。また、海域区分を行うためのクラスター解析に用いる。